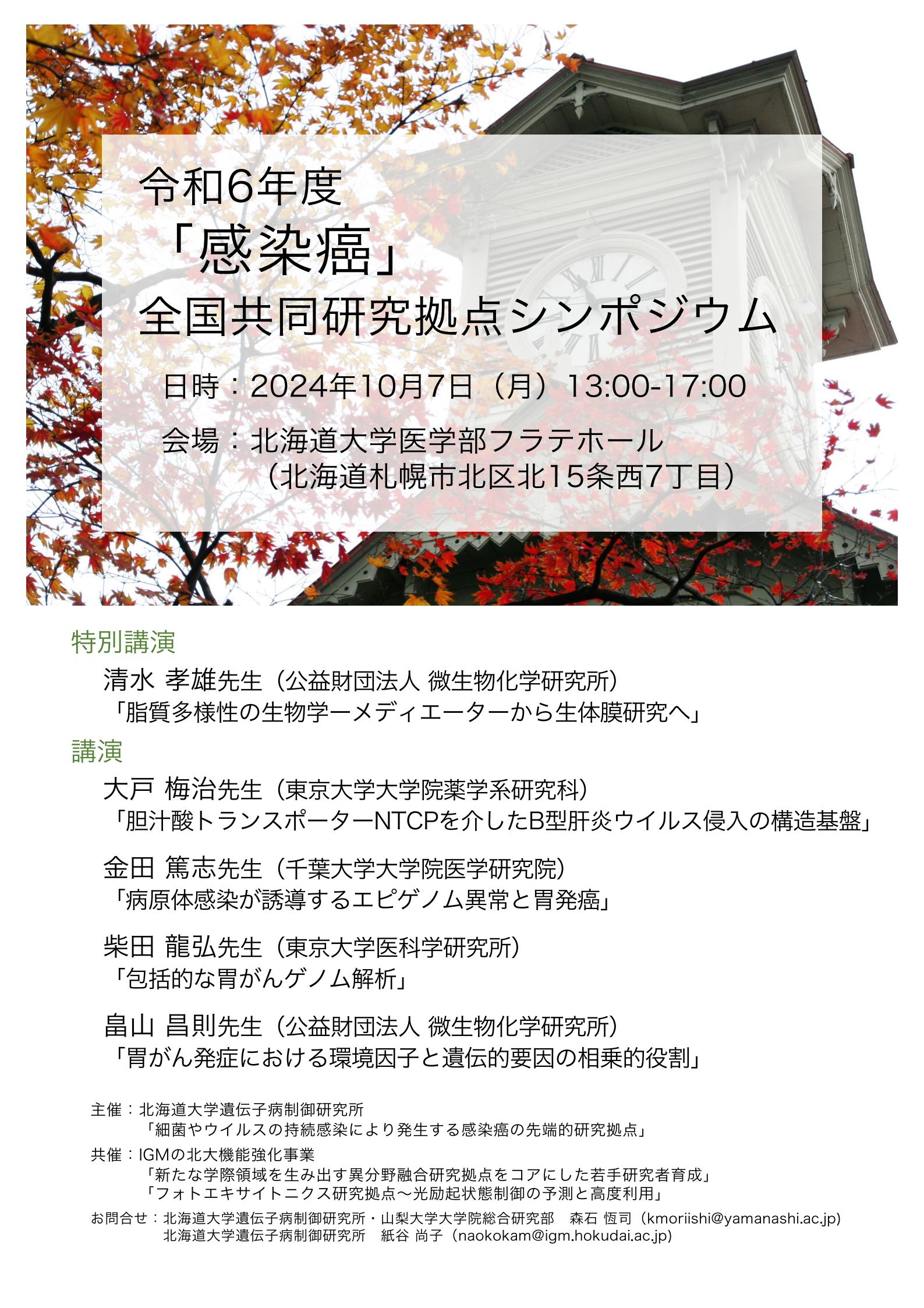




令和6年度 「感染癌」 全国共同研究拠点シンポジウム

日時：2024年10月7日（月）13:00-17:00

会場：北海道大学医学部フラテホール
（北海道札幌市北区北15条西7丁目）

特別講演

清水 孝雄先生（公益財団法人 微生物化学研究所）
「脂質多様性の生物学—メディエーターから生体膜研究へ」

講演

大戸 梅治先生（東京大学大学院薬学系研究科）
「胆汁酸トランスポーターNTCPを介したB型肝炎ウイルス侵入の構造基盤」

金田 篤志先生（千葉大学大学院医学研究院）
「病原体感染が誘導するエピゲノム異常と胃発癌」

柴田 龍弘先生（東京大学医科学研究所）
「包括的な胃がんゲノム解析」

畠山 昌則先生（公益財団法人 微生物化学研究所）
「胃がん発症における環境因子と遺伝的要因の相乗的役割」

主催：北海道大学遺伝子病制御研究所
「細菌やウイルスの持続感染により発生する感染癌の先端的研究拠点」

共催：IGMの北大機能強化事業
「新たな学際領域を生み出す異分野融合研究拠点をコアにした若手研究者育成」
「フォトエキサイトニクス研究拠点～光励起状態制御の予測と高度利用」

お問合せ：北海道大学遺伝子病制御研究所・山梨大学大学院総合研究部 森石 恆司（kmoriishi@yamanashi.ac.jp）
北海道大学遺伝子病制御研究所 紙谷 尚子（naokokam@igm.hokudai.ac.jp）